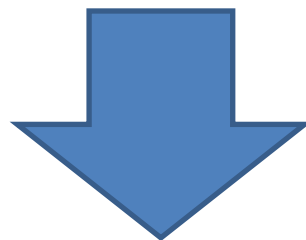


案内がわかりづらかったり，お子さんやお年寄りが利用しにくい。

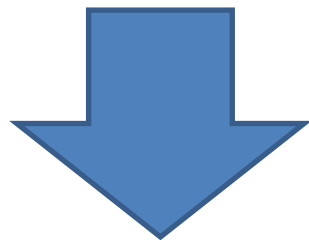


利用したくなるためには？

**「未来形おもいやり庁舎」**

# 課題抽出

1. どこに行けばいいかわかりづらい表示や案内。
2. 待合い時お子さんなど落ち着いて過ごす場がない。
3. 人目を気にせず相談できる場がない。
4. LGBTに対応していない。



多様化する市民のニーズに対応していない。

= 将来に向けた思いやりが欠けている。

# 庁舎に備えるべき機能

1. 受付・案内コーナーの充実と分かりやすい表示  
部署の名称ではなく手続きの内容を表示
2. 快適な待合いスペース  
キッズ&シルバースペースを設置
3. 目的に応じて利用できる多様な相談室  
相談コーナ（丸テーブル）, ブース（仕切り）,  
医務室としても使えるようになる個室
4. みんなが使いやすいトイレ



**利用者の目線を考えた設備が解決!!**

# 基本構想への提言

1. 窓口カウンターは子どもを連れた方、**お年寄りや障がいのある方を含めて**落ち着いて手続きができるスペースを設置 (第3章-2-(1)-②)
2. 市民の様々な相談対応にするため、プライバシーに配慮した**個室の**相談室を設置するとともに、**気軽に相談できる相談ブースや相談コーナー**を設置 (第3章-2-(1)-③)
3. お年寄りや障がいのある方、乳幼児を連れた方に加えて、**LGBTの方も含めすべての人が利用しやすいトイレ**を設置 (第3章-2-(4)-②)

# 最後にもう一度

---

「未来形おもいやり庁舎とは」